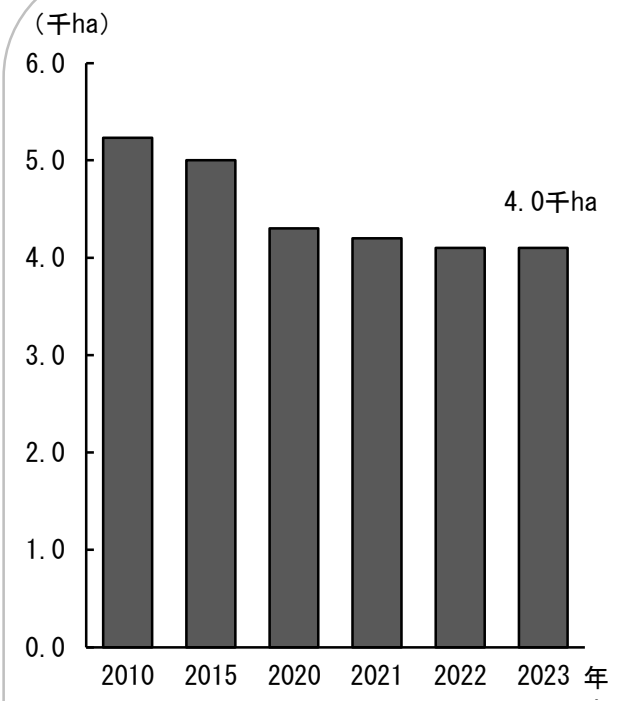
果　樹

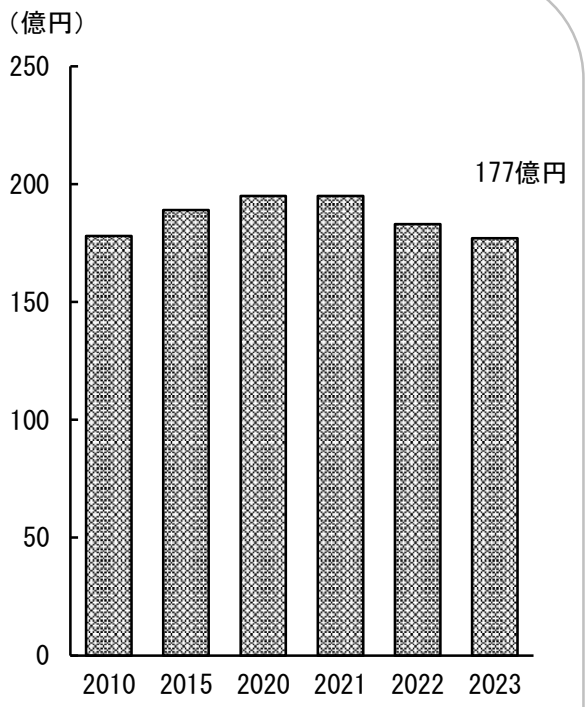
《果樹栽培面積の推移》



（出典：生産農業所得統計及び特産果樹生産動向調査）

近年、栽培面積は、微減傾向にある。

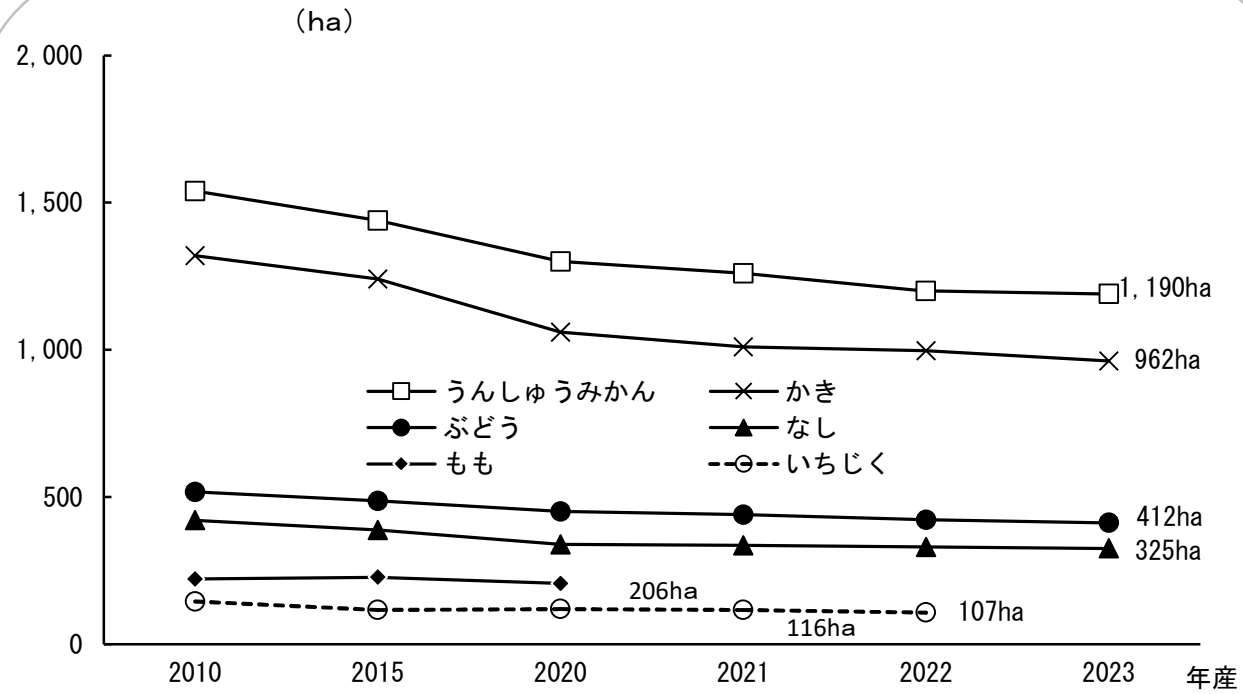
《果樹産出額の推移》



（出典：生産農業所得統計）

2023年の品目別の産出額は、「うんしゅうみかん」77億円、「ぶどう」31億円、「日本なし」16億円、「かき」22億円、「もも」9億円、「いちじく」13億円となっている。

《果樹の主要種類別栽培面積の推移》



（出典：「いちじく」の2005年は東海農政局統計部生産流通消費統計課調べ、2010年以降は特産果樹生産動態調査）

昭和から平成にかけて「うんしゅうみかん」の栽培面積が大幅に減少したが、平成に入ると栽培面積に大きな変動はない。

主要種類別の栽培面積は「うんしゅうみかん」が1,190haで最も大きく、次いで「かき」が962haとなっている。

「もも」の栽培面積は2022年、2023年は非公表。